

日本食品保健指導士会関西支部  
会員各位

日本食品保健指導士会関西支部  
支部長 坂口 陽子

日本食品保健指導士会関西支部  
平成 30 年度 支部研修会のお知らせ

謹啓

爽秋の折、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、12月8日(金)に、日本食品保健指導士会関西支部平成30年度研修会を下記要領にて開催させていただきます運びとなりました。今回は『医療・大学側の視点より特保、栄養機能食品等へのご意見、商品開発にあたって求めること』をテーマとし、演題を2題とさせていただきました。

つきましては、ご多忙の折まことに恐縮に存じますが、ふるってご参集いただきますようお願い申し上げます。非会員のかたの聴講も可能です。参加申し込みは別紙の申込書に必要事項記載の上、FAXもしくはメールにてお願いします。

なお、今回の認定更新単位は2単位となります。

謹白

記

日時 平成30年12月8日(土) 13:30-17:00  
場所 オルガビル4階会議室「ギャラリー」

1) 13:40-15:10

「“Nutraceuticals”の新潮流 ～機能性食品の現状・課題・未来～」

ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 食品栄養学科 教授 小林謙一氏

略歴 平成17年 京都大学 大学院農学研究科 食品生物科学専攻 博士後期課程 修了 博士(農学)  
日本学術振興会特別研究員、東京農業大学助手・助教・准教授を経て、平成29年より現職

「アミノ酸代謝異常と慢性腎臓病」「腎臓を守る食生活因子の探索」「機能性食品の見える化」などを研究テーマとして、栄養生化学、分子栄養学的実験手法を駆使し、研究・教育を推進している。

これまで、日本食生活学会奨励賞や日本食品保蔵科学会論文賞などを受賞。現在、日本食生活学会理事、日本農芸化学会中四国支部参与、日本栄養・食糧学会参与をつとめるほか、国際トリプトファン研究会、日本アミノ酸学会、日本食品保蔵科学会などで精力的に活躍中。

2) 15:20-16:50

「高齢者の栄養補給、働き盛りのバランスサポート、腸内環境について医療現場からの提案」

清水内科 医師 清水孝一氏

略歴 平成12年岡山大学医学部卒  
平成21年～現在 清水内科医院勤務

総合内科医として地域医療を担う傍ら、30社以上の産業医としてその安全衛生に携わる。スタンダードな医療をベースとしながら健康を維持・向上させるさまざまなことを取り入れながら日常診療を行っている。

参加費) : 指導士 1,000 円 一般 1,500 円 先着 30 名 \* 一般の方も参加歓迎です

日本食品保健指導士会関西支部  
「平成30年度 研修会」 申込書

平成 30 年 12 月 8 日 (土) の関西支部研修会に参加します

氏名:	合計参加者数:	名
<input type="checkbox"/> 指導士 指導士登録 No. _____		
<input type="checkbox"/> 指導士ではない		
<input type="checkbox"/> 連絡先等 電話 E-mail		
連絡事項		

会場地図

住所：岡山市北区奉還町 1 丁目 7-7  
※JR 岡山駅西口から北方面へ徒歩約 5 分  
※車高 155cm までの車はオルガの駐車場がお得です。(終日 1,200 円)

